



令和6年度 朝日中学校 学校だより

R6.7.11

たのっこ

鶴岡市立朝日中学校

TEL:53-2092

Fax:53-2091

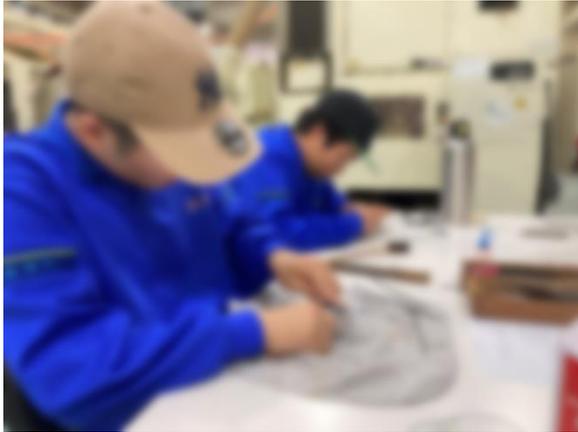
Mail⇒



「安全」の次に大切なことは…！？ 職場体験から学ぶ

今年も地域内10の事業所様にご協力いただき、7月3日(水)、4日(木)の2日間、2年生が職場体験を実施させていただきました。

最近の「職場体験」は庄内総合支庁担当課のコーディネートで、各企業から学校に来ていただき、企業が設置した各ブースを生徒が回って複数の仕事を体験する「WAKUWAKUワーク」を実施する学校がほとんどです。様々な職業を体験して自分の将来を考えるきっかけとしては有効だと思いますが、朝日中では以下の3つのねらいとすることから、今年度も生徒が各事業所様に出向いて体験させていただくこととしました。



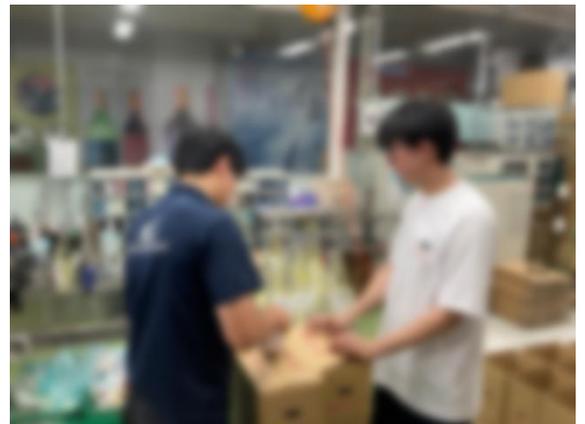
- ①朝日地域の職場で、人との関わり方を身に着ける。
- ②将来に夢を持ち、主体的に自分らしく生きる姿勢を学ぶ。
- ③仕事のやりがいや責任を実感する。

職場の人達は、皆さん、とても生き生きと、楽しそうに、自分の仕事に誇りと責任をもって取り組んでいた、と感じませんでしたか。皆さん、自分の仕事に誠実に取り組んでいましたよね？辛い時だってあるだろうけれど、なぜ、あんなふうに働けるのか、自分だったら同じように働けるのか、と「自分ごと」として考えてほしかった。間近に従業員の方々が働いている姿を感じながら「リアル」な環境に身を置くことで、早ければあと数年後には「働いている」かもしれない、じゃあ、今の自分で、通用しそうなことは何だろう、逆に足りないことは何だろう、と考えてほしかった。

働く上で、「安全」の次に大切なことは「健康」だ、と教えていただきました。同僚と仲良く働くことも大事。仲良くするためにコミュニケーションをとることも、職場の中で、自分で考えて行動することも大事だけど、それよりもまずは健康。健康じゃないと働けないから。

別の事業所では、生徒ができた製品をチェックしていると、「自分でいいと思えばいいんじゃないか」とお声がけいただいていたことが印象に残りました。その製品の出来に対して、「これでいい」と言った時点で責任が発生します。そして自分の仕事に責任を持つ、ということは、その前に関わった人、今後関わる人のことを考える、という視点も必要なんだ、と思いました。

出張等で、お世話になった全ての企業をまわって2年生の皆さんの姿を見ることはできませんでしたが、見学させていただいたどの企業でも、真剣に取り組んでいる2年生の皆さんの姿を見ることができてうれしかったです。どうもありがとうございました。



数学単元テストのお知らせ

7月18日(木) 1年生／「文字の式」、3年生／「平方根」

※教科書、ワーク等の範囲が既に先生から示されています

※単元テスト等の日程は、随時学校HPで随時お知らせしています。⇒



地区運動会への参加について

今年度から地区運動会を授業日扱いにしないこととしましたが、「出なくてもよい」という意味ではなく、逆に「授業日」でなくなったからこそ、「自らすすんで」「積極的」に運動会に参加してほしいと思っていますし、できれば地区運動会運営の一端を担ってほしい、と思っています。

「積極的」に参加するのは、自分も周りの方々も楽しむため。楽しんでいただくため。

昨年、担当として参加した地区は、中学生のいない地区。どなたも知っている方がいない中、座っていると、「まんず、校長先生も出はれ！」と声をかけられて、いくつかの種目に出させていただきました。

じゃんけんをして勝ったら次の関門にいる人とじゃんけんをしてかったら進んで、を何回か繰り返して、ゴールを目指す、という種目に出場しました。いいところまで行くのに、肝心なところでじゃんけん負け、スタートに戻る、ということを繰り返しているうちに、ゴールしていないのが自分だけ、という状況に。地域の方々ものすごい声援(?)の中、何とかゴールした時は、ホッとすると同時にとても楽しかったことを覚えています。

最初は、ゴールしていないのが自分だけだったから恥ずかしかった気持ちもありましたが、じゃんけん負けの度に会場に笑いが起こる状況を、途中から「楽しい」と思えるようになったのは、会場にいる地域の皆さんが笑顔になってくれることがうれしかったからかな…。

例えば、秋山はそうだったけれど、一人ひとり得意なこと、苦手なことってあると思うから、できること、できないこと、できればしたくないな、と思うこともあると思います。でも、地区運動会を表と裏から見たときに、秋山が経験した表の部分だけでなく、裏側でもきっと周りの方を笑顔にできる役割はあると思っています。

競技で使う荷物を運ぶ手伝いでもいいし、小さい子や小学生が出場するときに案内する係でもいい。種目に参加することだけでも運動会を運営する側にしてみれば、「協力してくれてありがとう」という気持ちになると思います。

自分の行動で人を喜ばせることができる、うれしい気持ちに、笑顔にすることができる。その機会を逃してほしくないと思います。当日の数時間だけ、あなたの時間をみんなのために。どうぞよろしくお願いいたします。

教員の働き方改革とか、文部科学省からの授業時数の適正化の指導等、付随する要因もありますが、地区運動会を授業日扱いとしないこととした主たる理由は、地元愛や地域貢献意識を醸成するには、授業日扱いにしないで、「自主的」に参加するようになっていただくことが必要だと考えたからです。

私自身、小中学校での学校生活を通して印象的な出来事はいろいろありますが、今もこうして生まれた地域に住み、地域のために些細な役割ですが、「果たさなければ」という気持ちを持って務めているのは、小学生や中学生の時に地域の方々に見守られながら、やりたいことに取り組んだり、与えられた役割を果たしたりする経験を積むことができたからだと思うのです。地域の方々に見守られながら「些細なことだけど、役立つことができた」と思える経験を積み重ねてくれたから、今こうしてここにいるのではないかと、思ったのです。

学校では、今後、地域の皆様と関わる機会の創出について検討していきたいと思っています。

その前段階として、まずは地域の皆様に学校に来ていただく機会をつくろうと思っていますが、5月の学校運営協議会では、地域の方が理由もないのに学校に行くのはハードルが高い、というご意見をいただきました。授業参観やイベントのご案内をもらっても、学校に家族が通っているなどの理由がないと学校には行きづらい、と。

確かにその通り、だと思ったので、まずは中央コミセン主催の「スマホ講習会」を中学校で開催していただくよう調整させていただいています。夏休み中なので生徒はいませんが、まずは1回校舎に入ってきて、校舎を見ていただくところから始めようかと。

話は少し逸れてしまいましたが、中学校を卒業しても、地域に愛着を持ち、地域のためにできることを考え続け、できればそれを実行できる人を育てたい、と思っています。

言葉足らずで大変恐縮ですが、ご理解とご協力、お子さんへのお声がけをどうぞよろしくお願いいたします。